



Environmental Report 27

環境活動レポート

対象期間 2016年10月～2017年9月

森林と共生できる暮らしを！

MEIKYO

明京電機株式会社

1.	組織の概要	2/16
	■ 事業所名及び代表者 ■ 所在地 ■ 環境管理責任者及び担当者 ■ 事業内容 ■ 事業規模 ■ Eco Action21 組織図 ■ 製品紹介	
2.	対象範囲	4/16
	■ 登録範囲 ■ レポートの対象期間 ■ 発行日	
3.	環境方針	4/16
	■ 基本理念 ■ 活動方針	
4.	環境目標	5/16
5.	環境活動計画	6/16
6.	環境目標と実績	7/16
7.	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	8/16
	■ 統計から見た取組みの実績と評価 ■ 取組例 ■ 環境コミュニケーション	
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	11/16
9.	代表者による全体評価と見直しの結課	12/16
10.	TOPICS	13/16



1. 組織の概要

事業所名及び代表者

明京電機株式会社
代表取締役 社長 寺地 辰己

所在地

〒114-0012
東京都北区田端新町 1-1-14
東京フェライトビル 4F
電話 03-3810-5580
FAX 03-3810-5546



2015年9月移転 東京フェライトビル 4F

環境管理責任者及び担当者

管理責任者	石河 昇
連絡先	電話 03-3810-5580 FAX 03-3810-5546 E-mail ishikawa@meikyo.co.jp
環境事務局	山内 由起子
推進委員	三浦 卓也

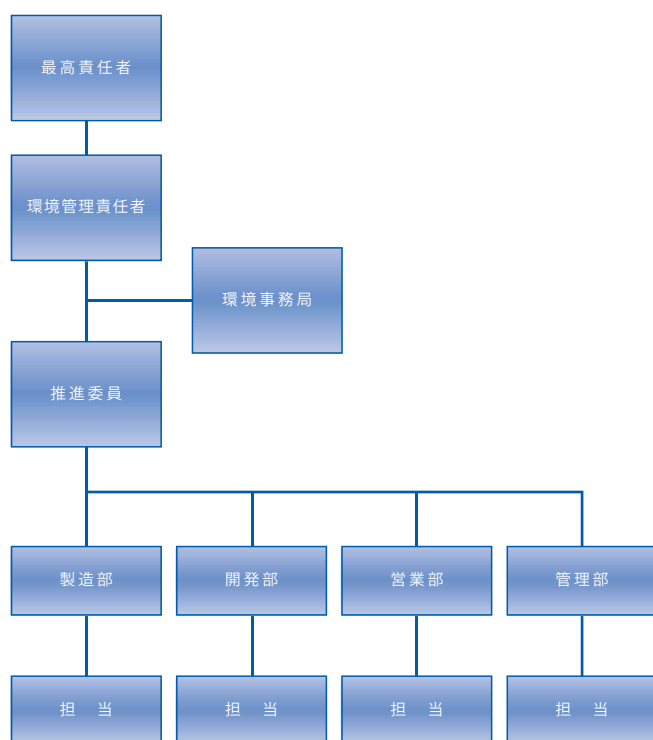
事業内容

- ・ネットワーク機器の開発・製造・販売
- ・測定制御機器の開発・製造・販売
- ・特殊ハード製品の開発・製造・販売
- ・ソフトウェアの受託開発

事業規模

創立	平成2年
設立	平成2年
資本金	3000万円
年商	460百万円 (27期：2016年10月1日～2017年9月30日)
従業員	31名（契約及びパート社員含む）
延床面積	約330㎡

Eco Action21 組織図



■ 最高責任者

- 1) 環境方針の策定及び制定
- 2) 経営資源の準備
- 3) システムの見直し・改定・評価
- 4) 環境活動報告書の承認

■ 環境管理責任者

- 1) システムの確立・実施・維持管理
- 2) 環境目標及び活動計画の策定
- 3) 環境活動レポートの作成
- 4) 環境管理委員会の開催とその運営
- 5) 教育・訓練の計画と実施
- 6) 環境関連法規の遵守確認

■ 環境事務局

- 1) 管理責任者の補佐業務
- 2) 環境文章及び記録の作成・管理
- 3) その他の EA21 に関する業務全般

■ 推進委員

- 1) 廃棄物分別管理の記録
- 2) 作業工程の各種改善

製品紹介

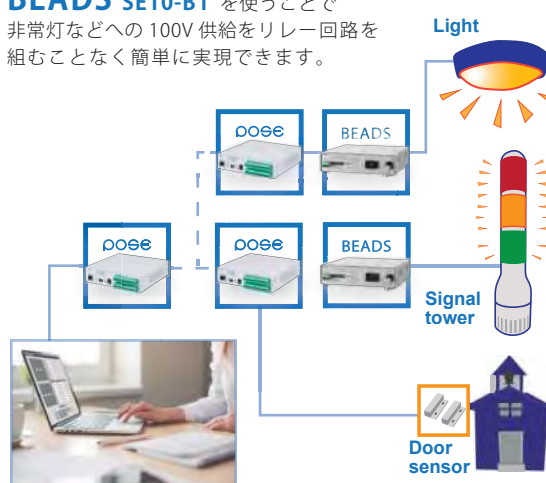
汎用 OS に依存しない独自 OS と TCP/IP プロトコルスタックにより、柔軟かつ、極めて安定したネットワーク電源制御装置を開発しています。



接点コンバーターシリーズは、工期短縮、配線材料削減など接点制御システムの簡略化にも貢献します。

POSE SE10-8A7B1 を使えばネットワークを使って接点制御システムを簡単に構築できます。制御盤から出る大量のケーブルを引き回すことなくネットワーク経由で接点制御が可能になります。

BEADS SE10-B1 を使うことで非常灯などへの 100V 供給をリレー回路を組むことなく簡単に実現できます。



2. 対象範囲

登録範囲

遠隔電源制御機器の開発・製造および販売

レポートの対象期間

2016年10月1日より2017年9月30日まで

発行日

2017年10月30日

3. 環境方針

基本理念

明京電機株式会社は主たる遠隔電源制御製品の開発・製造・販売において「環境貢献を最優先」に促進し、地域社会に貢献するよう全従業員参加の下、継続的改善活動の実施に努めます。

活動方針

1. 「環境汚染の予防と環境保全活動」を実行し、法令順守に努めます。
2. 電力、水等の資源を大切に使い、二酸化炭素の削減および水資源の削減に努めます。
3. 廃棄物の削減とリサイクル化に努めます。
4. 化学物質についてはその維持管理に努めます。
5. 提供する製品サービスについては環境に配慮した製品を供給することに努めます。
6. グリーン購入については環境に配慮した資材購入に努めます。
7. 環境方針について全従業員に周知し、環境意識の高揚に努めます。

2014年10月30日
明京電機株式会社
代表取締役 社長

寺地 辰己



4. 環境目標

	27 期実績	27 期目標	28 期目標	29 期目標
	2016 年 10 月 ～ 2017 年 9 月	2016 年 10 月 ～ 2017 年 9 月	2017 年 10 月 ～ 2018 年 9 月	2018 年 10 月 ～ 2019 年 9 月
■二酸化炭素				
電力 (KWh)	24,693	26 期実績対比 同等目安 (24,013)	27 期実績対比 同等目安 (24,693)	28 期同期間対比 同等目安 (24,693)
灯油 (L)	0	26 期実績対比 同等目安 (0)	27 期実績対比 同等目安 (0)	28 期同期間対比 同等目安 (0)
ガソリン (L)	0	26 期実績対比 同等目安 (35)	27 期実績対比 同等目安 (0)	28 期同期間対比 同等目安 (0)
二酸化炭素 (kg)	10,495	26 期実績対比 同等目安 (10,286)	27 期実績対比 同等目安 (10,495)	28 期同期間対比 同等目安 (10,495)
	係数 0.425			
■水				
上水 (m³)	168	26 期実績対比 同等目安 (138)	27 期実績対比 同等目安 (168)	28 期同期間対比 同等目安 (168)
下水 (m³)	168	26 期実績対比 同等目安 (138)	27 期実績対比 同等目安 (168)	28 期同期間対比 同等目安 (168)
■資源				
購入品の削減				
再生紙 (kg)	247	26 期実績対比 同等目安 (348)	27 期実績対比 同等目安 (247)	28 期同期間対比 同等目安 (247)
梱包材 (kg)	3,054	26 期実績対比 同等目安 (3,917)	27 期実績対比 同等目安 (3,054)	28 期同期間対比 同等目安 (3,054)
グリーン購入の推進	100% 購入	100% 購入	100% 購入	100% 購入
■廃棄物				
ごみ削減 (kg)	4,578	26 期実績対比 同等目安 (4,161)	27 期実績対比 事業計画同等比 (4,990)	28 期同期間対比 同等目安 (4,990)
■環境保全				
R o H S 指令	100% 遵守	100% 遵守を徹底し 環境に配慮した 製品の提供を推進	100% 遵守を徹底し 環境に配慮した 製品の提供を推進	100% 遵守を徹底し 環境に配慮した 製品の提供を推進

注記：二酸化炭素排出係数は環境省が平成 20 年 12 月 19 日に公表した報道発表資料の中の東京電力の値をその計算出所としています。

5. 環境活動計画

27 期の結果を顧みて 28 期の環境活動計画を以下の通り設定することとした。

■二酸化炭素		活動計画	担当	日程
電力 (KWh)	①定期的な消灯	各部署にて時間を定めて消灯を実施。	有り	随時
	②冬：エアコンの設定温度を上げすぎない。(室温 20℃目処)		有り	随時
	夏：エアコンの設定温度を下げすぎない。(室温 28℃目処)		有り	随時
	③PC 電源を未使用時、OFF にすることを励行。		有り	随時
	④コピー機の省エネ使用。		有り	随時
灯油 (L)	未使用		----	随時
ガス	未使用		----	----
ガソリン (L)	社用車を継続廃止。外出は極力公共機関を使用。		----	随時
二酸化炭素 (kg)	----		----	----
■水				
上水 (m³)	①無駄のない水使用励行。		有り	随時
下水 (m³)	①トイレの洗浄レバーの大・小の使用徹底。		有り	随時
■資源				
購入品の削減 再生紙 (kg)	①両面コピー励行。		有り	随時
	②不必要な F A X のコピー化削減。		有り	随時
	③再生紙を 100%使用。		有り	随時
梱包材 (kg)	①リユースを考慮した梱包材使用推進。		有り	随時
	②使用実績を取ることを習慣化する。		有り	随時
グリーン購入の推進	環境対応商品マーク（エコマーク）の付いた商品を購入する。		有り	随時
■廃棄物				
ごみ削減 (kg)	リユース・リサイクル・リデュースを考慮したごみ削減を推進する。		有り	随時
■環境保全				
R o H S 指令	①現行の RoHS 対応部品を購入することを継続する。		有り	随時
	②新製品の RoHS 対応はすべて 100%対応とする。		有り	随時
■災害訓練の実施				
	年 1 回、ビル管理会社による全ビル一斉の消防訓練に参加する。	有り		30 年 9 月



6. 環境目標と実績

環境目標と実績

目標に対して、達成出来た場合には○、達成出来なかった場合には×。

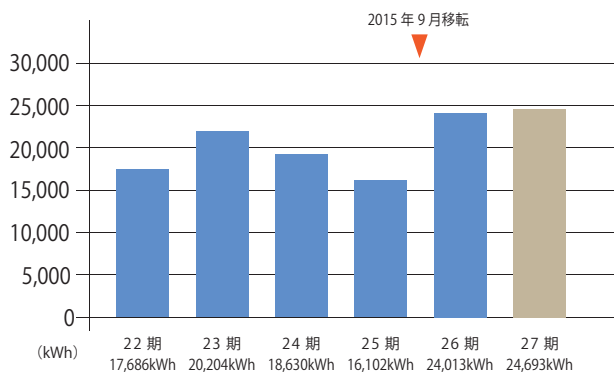
	26 期実績	27 期目標	27 期実績	結果
	2015 年 10 月 ～ 2016 年 9 月	2016 年 10 月 ～ 2015 年 9 月	2016 年 10 月 ～ 2015 年 9 月	
■二酸化炭素				
電力 (KWh)	24,013	26 期実績対比 同等目安 (24,013)	24,693	×
灯油 (L)	0	26 期実績対比 同等目安 (0)	0	○
ガソリン (L)	35	26 期実績対比 同等目安 (35)	0	○
二酸化炭素 (kg)	10,286 係数 0.425	26 期実績対比 同等目安 (10,286)	10,495	×
■水				
上水 (m³)	138	26 期実績対比 同等目安 (138)	168	×
下水 (m³)	138	26 期実績対比 同等目安 (138)	168	×
■資源				
購入品の削減 再生紙 (kg)	348	26 期実績対比 同等目安 (348)	247	○
梱包材 (kg)	3,917	26 期実績対比 同等目安 (3,917)	3,054	○
グリーン購入の推進	100%購入	100%購入	100%購入	○
■廃棄物				
ごみ削減 (kg)	4,161	26 期実績対比 10% 削減目安 (4,161)	4,578	×
■環境保全				
R o H S 指令	100%遵守	100%遵守	100%遵守	○

注記：弊社における経営年度 25 期：2014/10～2015/9 26 期：2015/10～2016/9 27 期：2016/10～2017/9

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

統計から見た取組みの実績と評価

(1) 電力使用量

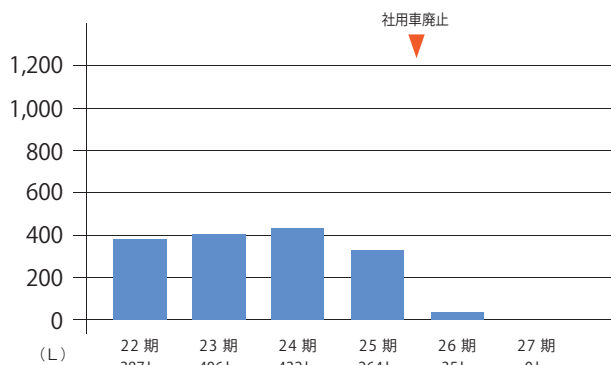


移転後2年目です。目標の数値を若干ですが上回りました。原因はやはり夏場のエアコンのようです。最高使用月が8月となっています。

【28期の取組内容】

1フロアの追加賃貸や人員の補強が予定されています。環境がかなり変化しますのでデータ収集を基本とします。

(2) ガソリン使用量

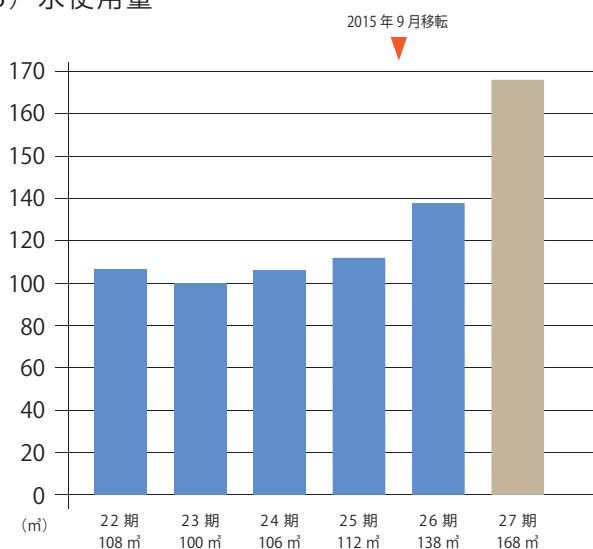


継続して社用車のリースは解約のままです。公共機関利用も徹底されたようです。その結果、目標を大きく下回りました。

【28期の取組内容】

社用車の契約は継続無しで進めます。

(3) 水使用量



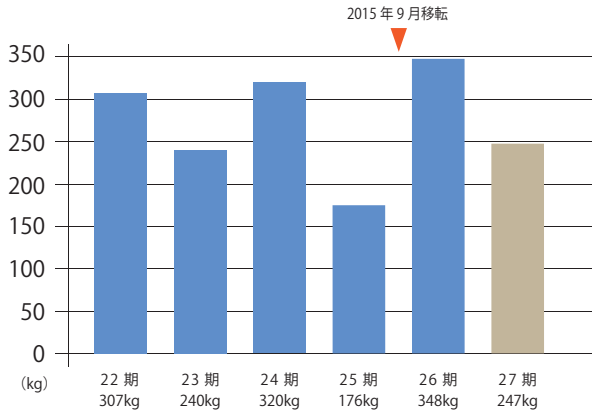
夏場の使用量が多いようです。飲料用に使用されたと思われます。26期同等数字を目標にしましたが目標達成できませんでした。

【28期の取組内容】

1フロアの追加賃貸や人員の補強が予定されています。環境がかなり変化しますのでデータ収集を基本とします。

統計から見た取組みの実績と評価

(4) コピー用紙の購入

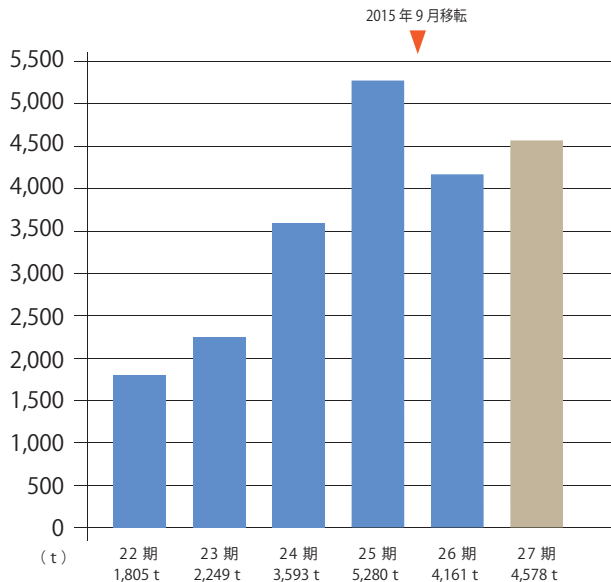


コピー用紙の購入量は目標から大幅減少となり目標達成が出来ました。裏紙使用やペーパーレス化が根付いてきたようです。

【28期の取組内容】

人員の補強を予定していますが27期同等数字を目標とします。裏紙使用はサイズを広げて継続です。

(5) 廃棄物

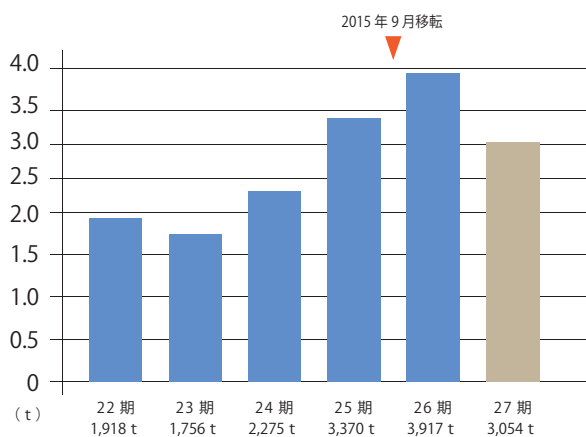


増加の原因は昼食の配達弁当が無くなったため、コンビニ弁当に切り替える社員が増えたことのようにです。社員数増もあり、目標達成が出来ませんでした。

【28期の取組内容】

人員の補強を予定していますが27期同等数字を目標とし、活動内容も継続です。

(6) 梱包材使用量



生産量は減少傾向に有りましたがそれ以上に使用量は減となり、納品方法の変更も功を奏したようです。大幅な目標達成が出来ました。

【28期の取組内容】

28期は事業計画は9%UPです。梱包材使用は9%以下を目標とし、活動内容も継続です。

取組例

率先して節電。

ちょっと席を外す時も
消灯などを心がけて
節電しています。



運送費軽減。

大量出荷は
JITBOX チャーター便の
利用を開始。



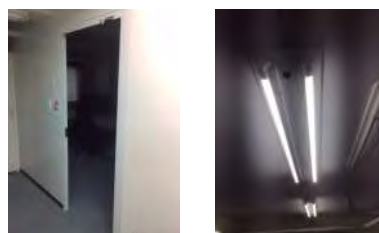
■節電の取組

継続

スイッチやPCに
節電シールで啓蒙活動。



使っていない
部屋は必ず消灯。部分的にLED化。



■リユース

継続

通い箱



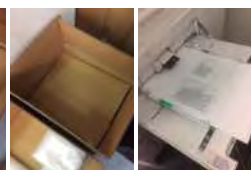
エアキャップ



ポリ袋



ダンボール



コピー用紙の
裏印刷

■リサイクル

継続



エアキャップを
再生利用のために分別し
専門業者へ委託。

■ペーパーレス化推進

継続
&
改善



MPR 導入。
会計ソフトとの連携検討。

■二酸化炭素の低減に向けて

継続

社用車のリース契約解除。
外出は極力公共機関を使用。



■2017年9月28日(木) ビル管理会社による合同消防訓練へ参加。



8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法規制違反の指摘及び訴訟の請求は過去5年以上ありません。

また地域住民などからの苦情は過去5年以上ありません。

●都民の健康と安全を確保する環境に関する条例

遵守

●廃棄物の処理および清掃に関する法律（廃掃法）

遵守

●家電リサイクル法

遵守

●RoHS 指令

遵守

苦情受付窓口

石河 昇

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

Eco Action 21 の活動も弊社において定着してきた感があります。社員がそれぞれ環境に対する取組に関心を示し、活動そのものを推進していることは嬉しい限りです。

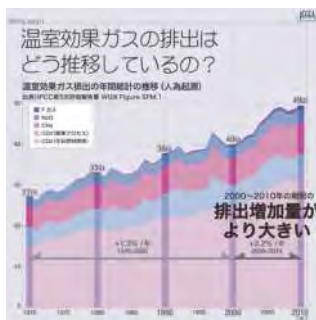
一方、輸入商品の国内販売開始および米国市場への弊社商品の導入といった事業の拡大と共に、社員の増員と事業所の拡大というテーマを抱えることとなりました。この点で新活動年度（新経営年度）においては、同一建物の中で1フロアを追加で賃貸することとなり、活動範囲が広がることとなり、新たにデータ収集に主眼を置いた活動となります。その点を考慮にいらして Eco Action21 を推進していくようにお願いします。特に、電気の使用量、水道の使用量に関しては依然として増加傾向です。ビル所有者と相談しながら改善を図っていくように。一方、社内においてはLED ランプの100%導入を図っていくように指示します。

■国立環境研究所

持続可能な都市の構築に向けて行われている、様々な取り組み

【もったいない】

日本には優れたテクノロジーが存在しますが、これらを活かして国内の、あるいは海外の低炭素都市の構築を推進する研究が、産官学連携で進められています。一方、都市を持続可能な形に変えるという一大事業は、テクノロジーに頼るだけでは遂行できません。日本に古くからある概念である、「もったいない」という言葉が世界でも有名になりましたが、日本独自の文化や価値観を背景に、資源消費を抑制し、資源は様々な形で何度も利用するという、消費スタイルを築くことも、重要な研究テーマです。



■JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター

【温室効果ガス排出の年間総計の推移】

2030年までに今まで以上の緩和策の取組みをしない場合、長期的な低排出レベルへの移行が相当困難になり、2℃シナリオ実現の選択肢の幅が狭まると述べられています。

次回の環境活動レポートは2018年11月頃の予定です。

2017年10月30日
代表取締役 社長

寺地 辰己

Interop Las Vegas

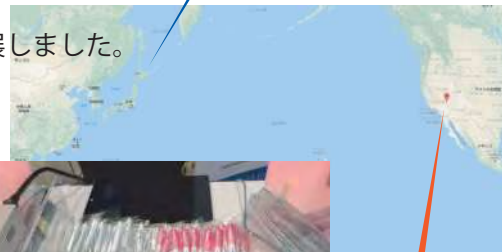
2017 年 5 月

ラスベガスで開催されたインターロップ展に今年も出展しました。

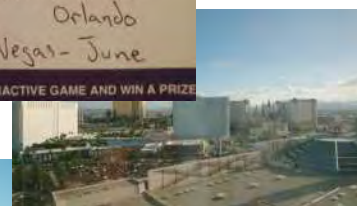
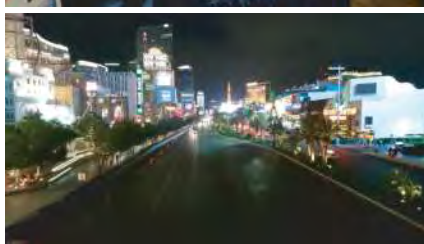
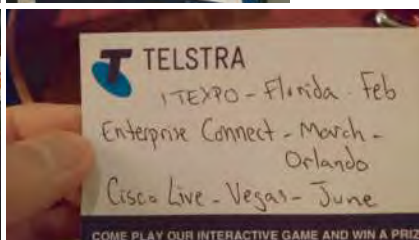
REBOOTER

RPC-M5C-EA

日本



Las Vegas



WATCH BOOT

RPC-M5C-EA

When your router freezes up, the REBOOTER will switch it OFF & ON automatically. You won't have to be there and do it yourself!

Unplug the LAN cable to simulate a router freeze.
The REBOOTER will switch the router OFF & ON automatically.



Try our simulation by unplugging the LAN cable!



"I used to have to make frequent trips to the site to manually reboot all of my routers.
I was never able to take a vacation! With the REBOOTER,
I don't have to be there anymore! I can enjoy life again - thanks, Meikyo!"
- a customer



MEIKYO ELECTRIC CO., LTD.
Tokyo Ferrite Building 4F
Tabatashinmachi 1-1-14, Kita-ku,
Tokyo 114-0012 Japan
TEL +81-3-3810-5580
<http://www.meikyo.co.jp>

The contents of the Materials are subject to change without notice.

<Distribution Partner / Value Added Reseller>



MD1704

Why Customers

REBOOTER

MEIKYO ELECTRIC CO., LTD.

新製品

「より安全、より安心、より快適に!」をテーマに次々とモデルチェンジされました。

[illegible]

MEIKYO ELECTRIC POWER SOLUTIONS

REBOOTER

より安全、より安心、より快適に!
4アウトレット制御できる19インチハーフ型リブーター

RPC-M5CS

WATCH BOOT Light
 REMOTE POWER CONTROLLER

標準価格 44,800円 (税別)

●送料 ●代金引換 ●JIS印取付

仕様

■アウトレット	数	4
形状	2機平行稼働型	-
電力制御容量 (W)	1500	-
■スケジュール	週間	-
■呼び出し	-	○
■IPアドレス指定	-	○
■Shutdown スクリプト	-	○
■電源	入力数	-
出力数	-	○
動作制約	-	○
■自動停止と警告表示	-	○
■自動リタイン	-	○
■リモートログイン	-	○
■睡眠による非バージョンアップ	-	○
■HDMIの映像再生機能	-	○
■電源消費電流	一度平均消費電流表示	-
■ユーザID/TIME	-	○
■SDカード	-	○
■FPC拡張	-	○
■ハードディスク監視	-	○
■温度監視	-	○
■音声対応	-	○
■POPサーバ接続	-	○
■監視ソフトウェア	8	○
■LANポート	-	○
■外部P/SAC	-	○
■リモート制御コンソール	-	○
■リモート制御専用ソフト	-	○
■SNMPv1対応	-	○
■RS-485	制御と監視	○
CC&BC	-	○
リアルタイム情報機能	-	○
■最大消費電力 (W)	5.2	-
■使用環境温度 (℃)	0~40	-
■使用湿度 (%)	20~85	-
■重量 (梱包含む) / 梱包サイズ	2200g/450x370	-
■電源電圧 (50/60Hz)	AC100V±10%	-
■重量 (前部)	1.6	-
■電源ケーブル長さ (m)	2.0	-
■外部インターフェイス	-	-
10BASE-T 100BASE-TX IEEE802.3準拠	RJ45 [×1]	-
RS-232C (Serial)	D-sub9 [×1]	-
温度センサー	B111 [×1]	-

オプション

■クライアントソフト(※1)	XH-703	○
特殊シリアルアダプタ	XH-704	○
リモートスイッチ	RP-W001	-
遠隔セータ	RP-S103	○
延長ケーブル	ATT-02	○
19インチラック型取具	ATT-B3	○
19インチラック型取具	ATT-J3	○
ネットワーク用延長ケーブル	RPC-eYE-V3	○

※1クライアントメニューは、プログラブル

■保証期間について
 APT・FCI・DOP・RAMP・MMP・ATTP・SNMP・BOOTP・DHCP・TELENET・SMTP・POP・ATT・BMAP

■警報音
 設定可能音源 (音質・音量共に調整可)

■注意
 物理的な損傷品 (電気的故障品を除く)

ネットワークコントローラ TELNETでして
[enable]を解除してのワーク。

携帯電話、PCなど

インターネット

LOCAL AREA NETWORK

- ① ハードビートの監視
- ② PING監視
- ③ 温度監視
- ④ 自動リブート
- ⑤ 遠隔電源制御
- ⑥ 遠隔スケジュール
- ⑦ Wake on LAN対応
- ⑧ シャットダウン対応

ネットワーク障害を最短で復旧します！

PING応答やハードビートが無くなった装置の電源を自動的にOFF/ONし、復旧します。遠隔監視による自動電源制御やネットワーク経由で遠隔電源制御も可能です。

WATCH BOOT Light
 RPC M5CS

ROUTER

CAMERA

Digital Signage

PC/SERVER

MEIKYO ELECTRIC CO.,LTD.



UL
CERTIFIED
SAFETY US
E491198

I.T.E.

FCC

■ Specification	
Trade Name	WATCH BOOT
Model Number	RPC-MSC-6A
Supported Network Protocols	ARP/UDP/ICMP/HTTP/TCP/SSH/BOOTP/BOOTDL/NET/LAN/PPPoE/L2TP/485/RS-485
Voltage/Current	AC100-240V / 1.2A (Max)
Maximum Power Consumption	1.8W
Resettable Type / Quantity	NON-SET / 1 SET / 4
Network Connection	10/100Mbps Ethernet
Frequency	50/60 Hz
Temperature Operating	22 to 50°C (30 to 122°F)
Humidity (RH) Operating	20 to 80% (non-condensing)
External Dimensions	220mm × 42.6mm × 55.0mm
Weight	3.05kg (1.4kg)
Power Cable	78 (inch) 2 (m)
Certification/Agency Approvals	RoHS Compliant
Compliance	CEC Part15 Subpart B ICES-003

■ CEC CAUTION

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

◎Classification Partner / Value Added Reseller◎

MEIKYO

MEIKYO ELECTRIC CO., LTD.

1-1-14, Kita-ku,
Tokyo 114-0012, Japan
TEL +81-3-581-5880
http://www.meikyo.co.jp

Case 1:

Do you manually
update the software
firmware?

Case 2:

Do you need to
update the software
firmware or
firmware address?

Case 3:

Do you manually
update the
firmware on
your own
schedule?

Solution:

With Watch Boot, the software can be updated
application program and automatically reflect the
firmware.

Solution:

With Watch Boot you can power the power to control
software device via web browser, etc.

Solution:

With Watch Boot you can automatically on
the weekly schedule of operation



RPC-MSC-6A

MEIKYO ELECTRIC CO., LTD.

TO 東京 KYO カイシャハッケン伝!

中小企業しごと魅力発信プロジェクト

「東京カイシャハッケン伝!」に 明京電機(株)が取り上げられました。

「東京カイシャハッケン伝!」は東京都産業労働局で行われています「中小企業しごと魅力発信プロジェクト」の一環として、東京都内の「すぐれた技術」「すぐれたサービス」「すぐれた事業」「すぐれた雇用環境」などを紹介するWEBサイトです。小冊子も発行されています。



面白きことは
良きことかな
ストーリー

再起動はお任せ!
オリジナリティにこだわった製品で
世界へ飛び立つ

中央・城北地区 明京電機株式会社

- 設立年: 1990年
- 資本金: 3,000万円
- 代表取締役社長: 山田 和典
- 従業員数: 30名(内、女性従業員数10名)
- 〒114-0012
東京都北区田端新町1-1-14 東京フェアライトビル4F
- TEL: 03-3810-5580
- <http://www.meikyo.co.jp>

ここにしかなくて、どこに
ものづくりへのこだわりが
ヒット製品で、日本を制し
今まさに世界へと打って出
キラリと光る企業に迫った

シェア100%の ユニークな電子製品

明京電機の主力製品は、IT機器の再起動を自動でしてくれる「リブーター」という装置。なんと国内のシェアはほぼ100%で、累計15万台を売り上げている。

「プログラムを独自設計し、遠隔操作できたり、複数の装置を順番に再起動できたりと、他社にはない機能が詰まっています」と寺地辰巳取締役は自信をのぞかせる。

ネットワークに繋がる電子機器は、どんな装置でも同リスクを抱えている。家庭やオフィスなら気の利く人が再起動すれば済むが、例えば屋外に設置されている電子看板や、高所の防犯カメラなどは数多く、足を運んで再起動するのは負担が大きい。更に原子力発電所や海上など容易に近づけない場所もある。そうした装置の状況を常に監視して、異常があれば自動で再起動できるリブーターがあれば、サービスが停止する時間を最小限にできる。

「スケジュール帳や電子看板をオン需要もあり、順調す」(寺地取締役)

更なる飛躍 アメリカ市場

ニッチながらも伸びているリブーター。そんな現状に甘んじず今年にかけて、



足腰の強い会社に
育てていきたい!

田中眞義氏

かけた。

その一つが、データセンターなどで使われる大量のサーバーを一緒に再起動させる装置を、アメリカのメーカーから輸入し販売する事業に着手したことだ。

「お客様からのお問い合わせが多かったのですが、当社のラインアップにはなかった製品。メンテナンスや代替部品サポートも立ち上げて、事業継続性を求めるお客様の声にしっかり対応できる体制を整えました」(寺地取締役)

そしてもう一つが、アメリカ市場への参入だ。100%のシェアを固めている日本とは違って競合他社もいれば、多数の規制に対応した製品を開発するなど、新規参入ならではの厳しさもある。

「でも、IT先進国のアメリカで成功できれば、世界が目撃するでしょう。そうすれば、先の展望も大きく開けます。自信はあります」と寺地取締役は言葉に力を入れる。

居心地の良い会社

購買課の高野かおりさんは、25歳。2年前に前職の貿易会社から転職してきた中途入社組だ。現在は、アメリカのメーカーへの発注、取り寄せ業務を担当している。

「個人の裁量でできるところが大きいのは、やりがいになりますね。しかも、前職に比べれば休みもきちんと取っていて、働きやすいです」

高野さんの上司の田中眞義さんも中途入社組だ。部品をいかに低コストで調達して、製品を効率良く販売していくか。細かい作業を積み重ねて「小さい会社ですが、ちょっとした風でも吹き飛ばない会社に育てていきたい」と意気込む。

創業以来の理想と誓った社員の方。その真価が今、試される。

編集部 「ハタロー+ケンジロー」メモ

オリジナリティのある製品を送り出すことへのこだわり
全てのものがインターネットに繋がるIoT時代の訪れが近いと言われることを考えれば、リブーターのニーズは爆発的に広がる可能性がある。自社製品にこだわらずデバイス(内蔵部品)として他社に供給する道もあるが、寺地取締役は「それはありません。オリジナリティがある製品であることを大事にしている」と断言する。あくまで自社製品として世に送り出し、リブーターという名前を浸透させることが、開発力の源泉になっているというのだ。会社が進む道として、一つの理想形といえるだろう。



更に詳しい会社情報は ▶ 東京カイシャハッケン伝! サイトへ >>

中央・城北

城南

城東

多摩

社員懇親会

2017年9月11日 豊洲で社員親睦会のBBQ大会が催されました。

